

選択した講義の内容です

2014 年度

操作ボタン

講義科目名称: 社会科学教育法Ⅲ(地理)

授業コード: S1061

英文科目名称: Methods & Materials in Social Studies III

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
春期	3	2	選択
担当教員			
草原 和博			

授業の目的	<p>本授業では、教科目標と子どもの実態を踏まえて、中等社会科・地理歴史分野を指導できる基礎的な知識と能力を養う。</p> <p>本授業は、「ケース・スタディー」に徹する。ケース・スタディーを通して、</p> <p>(1)地理歴史科の授業を「分析」し、「開発」するための知識と技能、</p> <p>(2)地理歴史科の「あり方・存在理由」に関する教科観・目標観、を総合的に育成したい。</p>
授業計画	<p>第1講 【パート1】地理歴史科のあり方の省察(1)</p> <p>○オリエンテーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「社会科学教育法Ⅲ」のねらい、授業計画 ・優れた地理歴史科授業、意義ある地理歴史科授業とはどういふものか <p>第2講 【パート1】地理歴史科のあり方の省察(2)</p> <p>○地理歴史科の教科目標と教科内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なんのために、何を教えるかー目標・主題と教育内容・教材の関係 ・日本史「大正デモクラシー」の授業の比較分析 <p>第3講 【パート1】地理歴史科のあり方の省察(3)</p> <p>○地理歴史科の教科目標と教科内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なんのために、何を教えるかー教師の問題意識と指導案フォームの関係 ・地理「工業の立地」の知識の構造分析 <p>第4講 【パート2】地理歴史科の授業分析(1)</p> <p>○事実・要素教授型の授業構成(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地理的分野「ヨーロッパの農業」の視聴 ・事実の構成と経過の教授とは <p>第5講 【パート2】地理歴史科の授業分析(2)</p> <p>○事実・要素教授型の授業構成(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地理的分野「ヨーロッパの農業」の分析 ・事実教授の原理的実証的な困難性 <p>第6講 【パート2】地理歴史科の授業分析(3)</p> <p>○解釈教授型の授業構成(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地理的分野「沖縄県の産業」+「農業大国フランス」の視聴 ・事実の意味連関の教授とは <p>第7講 【パート2】地理歴史科の授業分析(4)</p> <p>○解釈教授型の授業構成(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地理的分野「沖縄県の産業」+「農業大国フランス」の分析 ・事実に基づく思考力を養う学習過程 <p>第8講 【パート2】地理歴史科の授業分析(5)</p> <p>○理論教授型の授業構成(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公民的分野「政治とは何か」+「憲法とは何か」の視聴 ・一般概念(本質)の教授とは <p>第9講 【パート2】地理歴史科の授業分析(6)</p> <p>○理論教授型の授業構成(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公民的分野「政治とは何か」+「憲法とは何か」の分析 ・理論的思考力を養う学習過程 <p>第10講 【パート2】地理歴史科の授業分析(7)</p> <p>○解釈教授型の授業構成(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歴史的分野「唐の人々の暮らし」+「元祿期の農村」の視聴 ・事実の因果連関の教授とは <p>第11講 【パート2】地理歴史科の授業分析(8)</p> <p>○解釈教授型の授業構成(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歴史的分野「唐の人々の暮らし」+「元祿期の農村」の分析 ・事実に基づく思考力を養う学習過程 <p>第12講 【パート2】地理歴史科の授業分析(9)</p> <p>○理論教授型の授業構成(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域学習「酸性雨の背景」+「工場跡地のゆくえ」の視聴 ・一般原理(規則性)の教授とは <p>第13講 【パート2】地理歴史科の授業分析(10)</p> <p>○理論教授型の授業構成(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域学習「酸性雨の背景」+「工場跡地のゆくえ」の分析

	<p>・理論的思考力を養う学習過程</p> <p>第14講 【パート3】地理歴史科の授業開発(1) ○解説教授型の授業をつくってみる ・日本史「古代とは何か」「近代とは何か」の教材研究 ・事実の意味連関&因果連関を問い、事実に基づく思考力を養う学習過程を組織する</p> <p>第15講 【パート3】地理歴史科の授業開発(2) ○理論教授型の授業をつくってみる ・世界地理「国家の統治体制」「国家による富の再分配」の教材研究 ・一般概念&一般原理(規則性)を問い、理論的思考力を養う学習過程を組織する</p>
授業成果	
テキスト	授業の初回でコースバケットを配布する
参考書	(1) 社会認識教育学会編『中学校社会科教育』『地理歴史科教育』学術図書 (2) 原田智仁編『社会科教育へのアプローチ-社会科教育法-』現代教育社 (3) 草原和博『地理教育内容編成論研究-社会科地理の成立根拠-』風間書房
成績評価の方法	(1) 個人課題とグループワーク……50% (発表内容の合理性と実証性を中心に評価する) (2) 最終試験……50% (回答内容の論理性と具体性を中心に評価する) を原則として、到達状況を総合的に判断して評価する。 なお、授業の性格上、理由なき欠席は認めない。原則として授業を3分の1以上欠席した場合は、単位は認めない。
その他	(1) 個人課題の回答はメールでの提出を求め、優秀作品は直近の講義で紹介する。 (2) グループワークには積極的に主体的な参加を求める。成果は講義中にプレゼンしてもらう。 (3) (1)(2)への取り組みを通して、教師としての基本的な資質を養いたい。
参考URL	(1) ホームページ: http://home.hiroshima-u.ac.jp/~kusahara/kusalab/ (2) 質問・照会: kusahara@hiroshima-u.ac.jp
ベンチマーク/到達目標	(1) 「地理歴史科」の存在理由を、市民性育成の視点から説明できる。 (2) 他者の実践した「良い地理歴史科授業」を観察し、授業を成り立たせている原則を分析できる。 (3) 自分が設定した到達目標にもとづいて教材研究を行い、「良い地理歴史科授業」を開発できる。